□ 変更

✓ 新規

事業者排出量削減計画書

	マ都村知事		rt 4 /	04.10-	.b 1.1	H 1	7. T ~ W / b -	H H a		年2月	117日		
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)			氏名 (、法人に	めつては	、名和	外及び代表	表者())氏名)				
只都付城陽巾上 浑 唇	陽市上津屋境端67-2			—	+ ^ 41	/ \ 	E-64:40.	+	n±				
				ニック工業株式会社 代表取締役 中島 正晴 電話 0774-56-8110									
					電	.話(774-56	-811	J				
主たる業種	電気機械具プラスチック製造業						細分類	彩 旦	1 8	, 1	9 1		
					4. 44			当り	1 0	3	3 1		
			✓	」第12	条第1項	第1	号						
事業者の区分	□ 第12条第1項第2号又は第3号												
1.761.7 1.70	事業者の区分 京都府地球温暖化対策条例施行規則												
] 第12	徐第 1 時	第4	号						
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで												
基本方針	エネルギーの消費量の減少。品質/環境マネジメントシステムの効果的運用。廃棄物排出量の削減。												
本 中 刀 町	一二/アコーツ(IF具 単2/例グ)。 印具/ 深境 コンティーマク / カジ別本的連用。												
計画を推進するた	IS014001の運用により、地球温暖化対策に取り組む体制を構築し社員全員で取り組む。												
めの体制	150110010000000000000000000000000000000	, K (= -) / / / E O	1123 (2.11)	1 / (0 1	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/ - /	,1100						
	祖 安 効 田 ガ フ の 排 山 の 具	基準年度	第1	年度	第2年	连	第3年	度	増	446	4		
	温室効果ガスの排出の量	(29~1) 年度	(2)	年度	(3)	年度	(4) 4	宇度	增	// // //	- 		
温室効果ガスの排	事業活動に伴う排出の量	4,614.3 トン	4, 614.	3 トン	4,614.3	トン	4,614.3	トン	0.0	j	ベーセント		
出の実績及び削減	評価の対象となる排出の量				4, 614. 3		4, 614. 3		0. 5		ベーセント		
の目標	計価の対象となる排出の重												
·		新型コロナワ											
	目 標 の 根 拠	人所得の減少	寺を鑑。	み、生産	生里は、	元1] さ	小透明に	- より	、同一日	:) 生 国	甚と		
	事業の用に供す「声」は、なった。標	仮定しました 基準年度	密 1	年度	第2年	一	第3年	一					
原単位当たりの温 室効果ガス排出量 等	る建築物の用途 原 単 位 の 指 標	(1)年度		年度	(3)		(4)		増	減	率		
	事業活動に伴う排出の量	. , 154	(2)	十尺	(3)	十尺	(4)	十尺					
	提	26. 27		45.84	38	3. 45	38	. 45	55. 74	,	ベーセント		
	(生産数(千km)) 事業活動に伴う排出の量									_			
	事業活動に任り排出の重									,	ベーセント		
		原単位の指標	(J /+)	æmæv	- 1. 9 9	32V 10	1 /14 /lov / 1/. (ALC:	(音) 公用空27	('+ 1/4	#: /		
	原単位の指標及び目標の根拠	言えます。 伯	し. 最	新の製品	品は、数	年前に	比べ. 1	官気使	用量の多	を上る	上産		
	次 中 图 5 旧 称 次 6 日 称 5 K K	機で制 性の上					紅け書き	7211			L/-E		
		基準年度	第1	年度	第2年	度	第3年	度	備		考		
重点的にま	ミ施 する 取 組 の 実 施 計 画	(1) 年度	(2)	年度	(3)	年度	(4) 4	干度	VHI		77		
		114. 0	110.0	オンマー	121.0	オンイー	128.0	1 2					
		IS014001の年						五田公	あた n a	油田	H III		
	(2)年度	の削減を行う	文口伝	ICHEV.	电风	// // J	こ川里ツル	17年11	.001C 9 V	ノ)丈刀	口里		
具体的な取組及び	ISO14001の年度日標に従い、電気・ガス使用量の原単位なたりの使用量												
措置の内容	(3) 年 度	(文日)示	(CILLY)	电人	/ V / · [)	C/11 至 v / //	1/	.0010 7 4	/ () /	11 ===			
10日4717日	の削減を行う IS014001の年度目標に従い、電気・ガス使用量の原単位あたりの使用量										量量		
	(4) 年度	の削減を行う	~	·- /c · ·			C/11 = //	1 1 122		- 1~/1	17 ===		
		*>111100 C 11 /											
通勤における自己	措 置 の 内 容	世界が困難な	#帯状日難ななめ、実施壮学										
の自動車等を使用		措置が困難なため、実施せず。											
することを控えさ													
せるために実施し	1 -to - 10 mm > 1-to mm) we wise 1	通勤に際して	かに際して、会社と最寄の交通機関までの距離が遠く、又、工場が2										
ようとする措置	上記の措置を採用する理由									_			
		4時間稼働なので通勤時交通機関が動いていない可能性があるため											
	区分	第1年度		第 2	年度		第3年度		備	ŧ	号		
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(2) 年月	艺	(3)	年度		(4) 年	蒦	VHS	.,	3		
	森林の保全及び整備によるもの		トン		トン			トン					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他地球温暖化対策により削減する量	府内産の木材の利用によるもの		トン		トン			トン					
			1 7		1 0								
	再生可能エネルギーを利用した電力又		トン		トン			トン	1				
	は熱の供給によるもの												
	が川 、原土打事炊の味 1 によりもの		1.5.		1.5			1.5.					
	グリーン電力証書等の購入によるもの		トン		トン			トン					
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温												
	室効果ガスの吸収効果分の購入によるも		トン		トン			トン	1				
	Ø								1				
	合 計	0.0	トン	(0.0 トン		0.0	トン					
地球温暖化対策に													
	京都府及び城陽市等の省エネキャンペ	ーン/ア糸fml チ	- n ı -	: +									
資する社会貢献活動		ノバー参加した	_りしよ	- 9 o									
動													
特記事項													
	•												

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

 - 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。